

講義コード	11C0270800	授業形態	演習	事前登録の有無	なし	担当教員		開講期	
科目名	日本語Ⅲ					洪沢 妃生子	通年		
履修前提条件						備考			
授業の目的	大学での学習活動に不可欠な日本語スタディ・スキルのなかでもより高度な技能の養成を目指す。文章と口頭による表現力と読解力を身につけることがこの科目のねらいである。実践的な文章から論理的な文章に至る、より高度な文章表現能力・プレゼンテーション能力を養い、説得力ある表現力の向上を目指す。学生による活動を中心に進める。								
到達目標	テーマについて文献検索による情報収集、提示資料の作成を行うことができる。また、自分の伝えたいことを自分の言葉で聞き手に効果的に伝え、それを「自己評価」する能力を高めることができる。レポートの構成、形式に関する知識を持ち、それを意識してレポートを作成する能力を高めることができる。								
授業外学修内容・授業外学修時間数	この科目では、30時間以上の授業外学修を行うこと。各回の授業で扱う項目について、予習・復習を行うこと。授業中に指示した課題を行い、提出すること。								
授業計画	【第1回】 ガイダンス、プレズメントテスト及びフィードバック 【第2回】 I 段落内の構造 II 書き言葉の特徴 III 和語・漢語、共起する語 【第3回】 小テストとフィードバック IV 日本語による時事情報の収集① 【第4回】 I 話題とメインアイデア II 助詞相当語 III 重要語句、未知語処理 【第5回】 小テストとフィードバック IV 日本語による時事情報の収集② 【第6回】 I アウトライン II 複文 III 重要語句、未知語処理 【第7回】 小テストとフィードバック IV 日本語による時事情報の収集③ 【第8回】 I 文章構成 II 指示表現① 【第9回】 II 指示表現② III 漢字からの推測、重要語句、未知語処理 【第10回】 小テストとフィードバック IV 日本語による時事情報の収集④ 【第11回】 I 論の展開① II 文の構造分析① 【第12回】 II 文の構造分析② III 図表表現 【第13回】 小テストとフィードバック IV 日本語による時事情報の収集⑤ 【第14回】 前期まとめテスト 【第15回】 まとめテストのフィードバック 振り返り 質疑応答 【第16回】 イントロダクション（前期の復習）I 論の方向を示す表現・事実（データ）と筆者の考え 【第17回】 II 文末表現① III 重要語句、共起する語 【第18回】 小テストとフィードバック IV 日本語による時事情報の収集⑥ 【第19回】 I 論の展開② II 文末表現② 【第20回】 II 文末表現③ III 未知語処理 【第21回】 小テストとフィードバック IV 日本語による時事情報の収集⑦ 【第22回】 I 引用 II 接続表現と予測① 【第23回】 II 接続表現と予測② III 共起する語、重要語句 【第24回】 小テストとフィードバック IV 日本語による時事情報の収集⑧ 【第25回】 V 映像による日本事情 情報交換と視聴 【第26回】 V 映像による日本事情 内容及び表現理解 【第27回】 V 発表準備 リハーサル 【第28回】 V 発表 振り返りと講評 【第29回】 後期まとめテスト 【第30回】 まとめテストのフィードバック 振り返り 質疑応答								
成績評価の方法	前後期まとめテスト40%、小テスト30%、課題10%、授業への取り組み姿勢20%で評価する。								
フィードバックの内容	課題に対する講評を翌週授業内冒頭にて行う。また、提出された課題を添削し、授業期間内に返却する。								
教科書	『大学・大学院留学生の日本語①読解編』アカデミック・ジャパニーズ研究会（株式会社アルク）2009年、その他教材は適宜プリントを配布する								
指定図書									
参考書	『大学・大学院留学生の日本語③論文読解編』アカデミック・ジャパニーズ研究会（株式会社アルク）2011年、適宜紹介する								
教員からのお知らせ									
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応する。								
その他									